

2018年12月3日(月曜日)

ひと

静岡県三島市で源兵衛(げんべえ)川を劇的に再生した



わたなべ 豊博さん(68)

きっかけは30年ほど前、源兵衛川に放置されたゴミ袋の山と悪臭を放つヘドロとの遭遇でした。「子ども頃に遊んだ、あの美しい川はどこに消えてしまったのだろう」。富士山の湧水が流れる「水の都」も、工業化による湧水減少、家庭雑排水の垂れ流し、ゴミの投棄などで変わり果てていたのです。

「ふるさとの水辺環境を再生しよう」。仲間を募っての地道なゴミ拾い、再生を諦めていた市民との勉強会、各分野の専門集団を組織し、多様な調査・計画・事業化を展開。NPO法人グラウンドワーク三島を結成。その事務局長と、県庁職員の二つの顔を持ち、市民・NPO・企業・行政がパートナーシップを組む先

頭に立ってきました。

2000年代には子どもたちが遊び、ホタルが乱舞する清流に変わりました。今年1月、世界水遺産に登録。「三島の宝が世界の宝になった。活動をさらに発展させたい」と喜びます。

子どもの頃から行動力は抜群。中学時代、狩野川の生態を調べて日本学生科学賞を受賞、富士山を海拔ゼロから頂上まで登ることも挑戦。

身長183センチ。あだ名は「ジャンボさん」。おだやかな話し方で誰とでも仲良くなれる特技が。後輩たちは「成功してもそれ以上を求め、圧倒的な生命力の塊」「コンピューター付きブルドーザー」と評価。高層マンションによる三島駅南口再開発は環境破壊につながるかと反対しています。

文・写真 内田 伸治